

内閣府特命担当大臣（国家戦略特別区域）

新藤 義孝 様

国の施策等に関する 提案・要望書

（平成26年4月）

鳥 取 県

鳥取県の国家戦略特区提案の区域指定について

《提案・要望の内容》

○大胆な規制・制度改革によって、地方から我が国経済の活性化を図ろうとする鳥取県の先進的な提案について国家戦略特区として指定すること。

- 1 未来社会創造ディスプレイ・イノベーションプロジェクトを、国際的ビジネス拠点の形成分野として区域指定すること。
- 2 とっとり「医療機器発明」産業化特区を、国際的イノベーション拠点の形成分野として革新的事業連携型（バーチャル特区）に指定すること。

<参考>

1 未来社会創造ディスプレイ・イノベーションプロジェクト【国際的ビジネス拠点の形成】

(1) 概要

公道実験の制限を緩和する規制改革等によって、県内ディスプレイメーカーを中心とした新たなディスプレイ開発による国際的イノベーションとビジネスの拠点を形成する。

<鳥取県内に存在する主なディスプレイメーカー>

◆(株) ジャパンディスプレイ鳥取工場

車載用ディスプレイ開発・生産等に関し県外工場から100名超の技術者等を鳥取工場に集約し、新製品の研究開発を実施。

・平成26年3月に株式上場。今後車載分野に積極的投資。



車載用ディスプレイ

◆シャープ米子(株)

世界的半導体大手のクアルコム社との共同開発による液晶を使わない次世代(MEMS(メムス))ディスプレイの開発を実施。

・シャープ(株)内に車載関連分野に係る新たな開発チームを立ち上げ。



MEMSディスプレイ

(2) 規制改革等の提案

○道路交通法・道路法等での公道実験の制限の緩和(道路交通法第77条)

車載用ディスプレイメーカーが、当県内の直線距離のある道路を活用して車載用ディスプレイ開発の実証実験を実施する際の道路使用手続きに係る規制緩和を提案。

○研究開発税制の拡充

○企業立地を促進するため、都市計画法の規制緩和、農地法の規制緩和を提案

2 とっとり「医療機器発明」産業化特区【国際的イノベーション拠点の形成】

(1) 概要

①産学官連携による医療機器バレーの構築、②最先端の技術を集積する世界トップレベルのロボット手術センターの設立、③先進的医療による国際交流拠点の形成により、国際競争力の高い医療機器産業の育成を図る。

(2) 規制改革等の提案

○ロボット手術における保険外併用療養の許可(健康保険法第86条)

保険外併用療養を許可することにより、保険収載のない術式でも患者の負担が減り、症例数の大幅な増加が見込まれ、新たな手術機器の開発につながる。

○外国人医療スタッフによる特区内医療行為の規制緩和

○医療機器の研究開発促進に係る制度創設

鳥取大学が企業と連携して開発している医療機器



自動推進式内視鏡

介護用車椅子